

令和 7 年度首里城扁額製作検討委員会

第 1 回 検討委員会資料

2025年9月10日(水)9:30 - 11:30

【資料 5】 「中山世土」仕様検討・製作の記録とりまとめについて

1. 「中山世土」仕様検討及び製作の記録作成の考え方

- 扁額「中山世土」について、今回復元製作の仕様検討成果、技術検討の内容、復元根拠などを後世に残すため、仕様検討及び製作の記録を作成する。
- 今後の修復や維持管理、新たな製作を行う際に活用できるよう、以下の基本的な考え方に基づいて、作成する。
- 首里城復元に向けた技術検討委員会や首里城復興基金事業監修会議での復元・製作の記録等の検討状況を踏まえ、記録誌作成についても引き続き検討する。

仕様検討及び製作の記録の基本的な考え方

◆記録取りまとめの目的

- 仕様、製作手法の決定根拠の明確化
- 将来の研究、製作物の修復や維持管理、新たに製作する際の参考資料
- 製作技術者における伝統技術の継承、人材育成の参考資料

◆取りまとめの主なポイント

- すべての項目を網羅し、一般の方向けにもわかりやすい表現とする。
- 平成復元時以降に得られた新たな知見等を踏まえた変更点についても、わかりやすく表現する。
- 製作物の仕様、検討経緯、製作の記録、検討・製作体制等の項目に分けて作成する。
- 今回の製作に反映しなかった検討項目についても必要に応じて記録する。

◆検討スケジュール

- 令和8年3月に製作完了を予定する「中山世土」本製作と同時期の完成を想定し、作業を進める。

